

経営比較分析表（令和元年度決算）

青森県南郡町 国民健康保険南郡町医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
17,870	4,909	第2種該当	10:1	

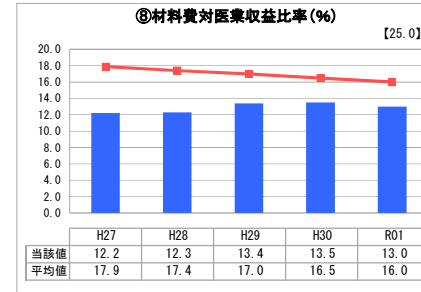
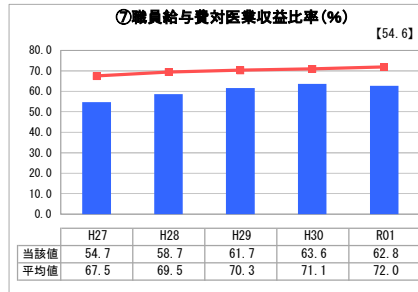
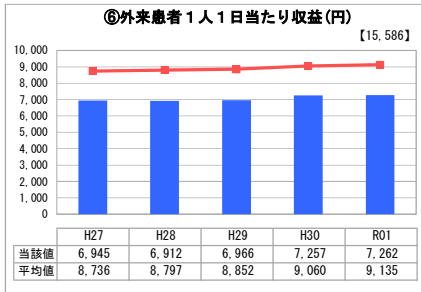
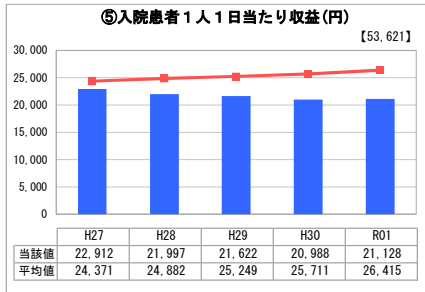
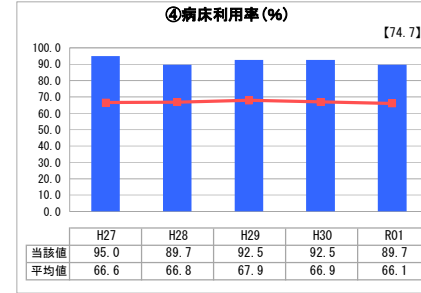
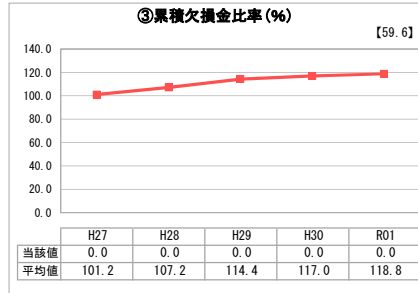
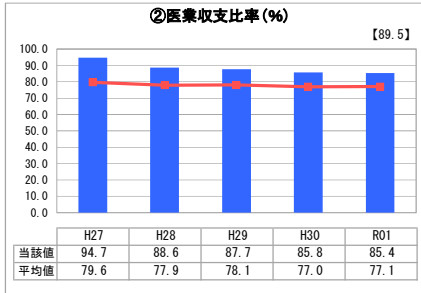
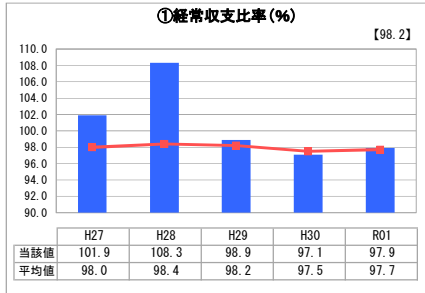
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

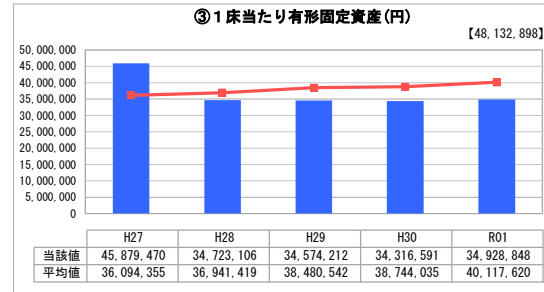
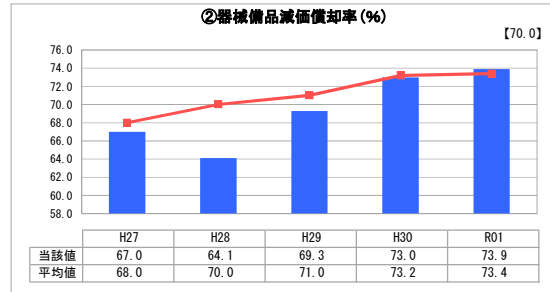
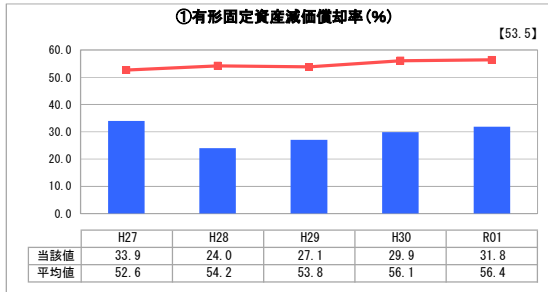
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
26	40	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	66
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
26	40	66

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

一次医療圏における急性期医療や慢性期医療に重点を置き、特殊医療の人工透析やリハビリテーション及び救急医療、在宅・地域医療など、不採算・特殊部門に関わる医療の提供もを行い、公立病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率：類似病院平均値を上回った原因は、人件費・材料費の減と考えられる。
- ② 医業収支比率：類似病院平均を上回っており維持している。
- ③ 累積欠損比率：なし。
- ④ 病床利用率：90%を下回ったため適正な入院計画をしていく。
- ⑤ 入院患者1人1日当たり収益：類似病院平均値よりも下回っている。これは療養病床（一般26床、療養40床）が、一般病床より病床数が多く病床利用率も高いことから、下回る結果となった。
- ⑥ 外来患者1人1日当たり収益：当院の患者の年齢層は高く、定期的な診察が多いため、類似病院平均値より下回っている。
- ⑦ 職員給与費対医業収益比率：類似病院平均を下回っているが、全国平均を上回っているため、適正に人員配置していくことが必要である。
- ⑧ 材料費対医業収益比率：当院の患者層を勘案すれば、妥当と考えられるため、この数値を維持していく。

2. 老朽化の状況について

平成26年度の新築移転に伴い、施設整備及び医療機器の更新を行った経緯があり、建物・及び医療機器等は比較的新しい物となっている。

- ① 有形固定資産減価償却率：上記理由による。
- ② 器械備品減価償却率：上記理由のほか、耐用年数を過ぎても、まだ更新せず使用している機器もあるため、計画的に更新をしていく。
- ③ 1床当たり有形固定資産：上記理由による。

全体総括

1. 経営の健全性・効率性については、概ね類似病院平均値より上回る数値となっているので、この状況を維持していくことを基本とし、入院・外来患者1人1日当たりの収益増のため、加算の見直しや職員配置等を行う。また、現状を踏まえながら経費削減と収入確保に努め、健全な病院事業運営に努める。

2. 老朽化の状況においては、平成26年度の新築移転に伴い、平均を上回ることとなったが、今後有形固定資産への投資は、器械備品のみとなることから、計画的にかつ過剰にならないよう更新していく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。